

地方創生特別委員会

問 池田町の婚姻率は全国平均より低い傾向とあるが、町の結婚相談の現状と今後の方策は。

答 町内在住の未婚者は地元での結婚相談は敬遠する傾向があり、逆に町外の登録者が多い。今後は大手の民間企業に委託して全国の中から結婚相手を紹介している。ただ方法を検討している。

問 総合戦略骨子(案)に掲

げられた事業の開始年度と優先順位は。

答 この事業はアイデア工房や池女会で議論を尽くした内容で、今までの懸案事項である。事業の優先順位は付けず、出来ることから全て実施していきたい。しかし、実施にあたっては関係課職員の負担が多くなるため、予算措置しながら専門業者や外部委託も検討している。

問 大都市では大イベントを開催した折、参加者のごみは持ち帰らないでと呼び掛

け、翌日に職員が収集している。大津谷公園キャンプ場は町内外から多くの利用者があり、ごみを捨てていくが、必要経費として利用者から使用料を収入できないのか。

答 冬季でもテントを張られ年間を通して多くの方に利用していただき、モラルのある方の利用者が多い。現在は公園管理人が早朝から、ごみ収集し良好な環境整備に努めている。仮に使用料を徴収すると管理責任も発生するため現状の体制で努力していく。

養老鉄道存続特別委員会

○審査案件：養老鉄道活性化協議会等について(経過報告)

問 経過報告は聞いたが、養老鉄道存続について話が進展しない原因は何故か。

答 沿線市町の足並みが揃っていないという疑念を持たれるなど、ここ数ヶ月の間

乗って残そう養老鉄道!

から「来年の3月」までと変更になったが、沿線市町の負担額や近鉄との交渉など本格的な議論や課題は山積している。

※委員より資料を精読する期間が必要との発言があり、今回の審査案件については「継続審議」となりました。

は体制づくりに奔走したが、8月21日には活性化協議会を開催し、これを踏まえて8月31日には幹事会も開催され、検討を進める体制が整ってきた。各種の課題事項に対する検討は、これから議論を行っていくが、8月5日の要望に対する近鉄からの回答書は経費や負担金の問題など核心的な事項がない。今後は岐阜県の担当者も幹事会のメンバーとなり検討を進める。又、今後の方向性を示す回答書の期限は「今年の12月」



養老鉄道沿線駅舎、周辺清掃

